

1. 地域新エネルギービジョン策定の目的

1.1 地域新エネルギービジョン策定の背景

湖西市は、静岡県最西端、愛知県との境に位置し、緑豊かでトレッキング・コースとしても親しまれている湖西連峰、はるか水平線をのぞむ大海原・太平洋、そして美しい水をたたえた汽水湖・浜名湖に囲まれた、自然豊かで温暖な気候の美しいまちである。その恵まれた風土は、古代から多くの人々の暮らしを支えてきた。

本市では、2001～2010年を計画期間とする第4次湖西市総合計画で”輝く未来が開けるまち・湖西”を将来像とし、目指すまちの姿の1つに【さわやかで美しい環境のまち】を掲げ、人々が快適に暮らすことのできる美しく住みよいまちづくりに向けた施策を実施している。

これまでも、下水道整備等の生活排水対策による水環境の保全、湖西市環境基本計画の策定や環境マネジメントシステムの導入・ISO14001の取得などとともに、クリーンエネルギー自動車、廃棄物熱利用（アメニティプラザ）、太陽光発電（健康福祉センター）の新エネルギーの導入など、自然環境の保全、循環型社会のまちづくりを積極的に展開してきた。

一方、世界・日本における環境・エネルギーの情勢は、産業の発展に伴いエネルギー需要も増大し、温室効果ガスの増加による地球温暖化、エネルギー資源の枯渇など、厳しい状況であり、特に日本においては、エネルギー資源が乏しく、今後省エネルギーとともにエネルギーセキュリティの確保が重要な課題となっている。

地球温暖化に対しては温室効果ガスの削減を目指し世界的な問題として取り組まれている。2005年2月には「京都議定書」が発効され、2008年から2010年までの温室効果ガス排出量を基準年（1990年）比で、先進国全体で5%、我が国で6%の削減約束がされている。

このような世界・日本をとりまく環境・エネルギーの情勢を背景とし、湖西市では、本市の望ましい環境像【さわやかで美しい環境のまち】のもと、豊かな環境の恵みを享受できる循環型社会のまちづくりを目指して、地域資源を活用した新エネルギー導入プロジェクト等を定める「湖西市地域新エネルギービジョン」を策定する。これによって、市民・事業者・市（行政）が三位一体となって、積極的に新エネルギー導入を推進していく。

